

Ⅷ 民宿の部屋

中学生以上・1時間20分

情報カードを用い、グループ内で各自が持つ情報を出し合い、正しい部屋割りを導き出すことが課題です。カードに記された情報をもとに、制限時間内に協力して与えられた課題を解決するゲームです。

1 ねらい

グループで課題を達成していく過程で、以下のことに気づくことがねらいです。

- (1) 言語によるコミュニケーション（「伝える（話す）」「聴く」「質問する」）の方法及びその難しさ、大切さ
- (2) グループにおける自分や他のメンバーの役割
- (3) グループで課題を達成するためには協力することが大切であること

2 対象および人数

- (1) 中学生以上
- (2) 1グループ5～7人
いくつかのグループが同じ場所で同時に実施することができます。

3 準備するもの

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| (1) 情報カード | 1グループ1セット<P58～59 参照> |
| (2) タイマー | ファシリテーター用 |
| (3) 課題用紙（A3版（グループ用）） | 1グループ1枚<P60 参照> |
| (4) 解答用紙 | 1グループ1枚<P61 参照> |
| (5) 正解 | 1グループ1枚<P62 参照> |
| (6) ふりかえり用紙 | 1人1枚<P86～88 参照> |
| (7) グループ発表用記録用紙（A4用紙） | 1グループ1枚 |

4 時間

1時間20分

- | | |
|----------------|-----|
| (1) 導入 | 10分 |
| (2) 実習（ゲーム） | 30分 |
| (3) 各グループの結果発表 | 5分 |
| (4) ふりかえり | 25分 |
| (5) まとめ | 10分 |

5 課題

カードの情報をもとに、民宿に泊まった若者20人が、最初はどの部屋にいたのかを考え、元の正しい部屋割りを解答用紙に記入します。制限時間は30分です。

6 ルールの指示

- (1) 各自が持っている情報は言葉で伝え、他人の情報カードを見たり、他人に渡したり、見せたりしてはいけません。また、情報を一覧表にして書いたりしてはいけません。

7 進め方

| 手 順 | 留 意 点 |
|--|--|
| <p>(1)導入 (10分)</p> <p>① 各グループに情報カードを配布する。</p> <p>② 情報カードの枚数(16枚)を確認するように指示する。</p> <p>③ 実習名、ねらいを提示し、課題解決の実習をすることを説明する。</p> <p>④ 課題、ルールの説明する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・カードの枚数を確認することを指示する。 ・返却時も枚数を確認することを指示する。 ・質問がないか聞く。 |
| <p>(2)実習の実施 (30分)</p> <p>① グループの全員に均等に配布するように指示する。</p> <p>② 情報カードがいき渡ったら、各自のカードを確認させる。 読めない字、意味不明な表現などがあれば質問を受ける。</p> <p>③ 開始を告げ、時間を計る。(30分間)</p> <p>④ 解答が出たグループは全員で手を挙げてファシリテーターに知らせることを確認する。</p> <p>⑤ 正解だった場合、解答・解説を配布する。</p> <p>⑥ 正解でなかった場合、再度考えさせる。</p> <p>⑦ 所定の時間になったら、作業が途中であっても実習を打ち切る。</p> <p>⑧ 情報カードの枚数を確認し返却させる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・グループの人数によっては、全員が同じ枚数になるとは限らないことを確認する。 ・時間の配分は板書しておくといよい。 ・実習中は、その様子を観察し、まとめの話の参考にする。 ・ふりかえり用紙の記入方法を指示する。 |
| <p>(3)各グループの結果発表 (5分)</p> <p>解答・解説を配布し、確認する。</p> | |
| <p>(4)ふりかえり (25分)</p> <p>P85参照</p> | |
| <p>(5)まとめ (10分)</p> <p>「話す」「聴く」「協力する」という観点で発表で出たふりかえりをもとに話をする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・グループの発表で出てきていないことがあれば補足する。 |

8 ふりかえり

(1) 個人記入

ふりかえり用紙に個人で記入してもらおう。具体的にどんなことに気づいたかも記入してもらおう。

(2) グループ共有

ア 司会・記録・発表者を決めてもらう。

イ ふりかえり用紙の質問項目1～5について順番に各自グループ内で発表する。

(3) 発表

主に「コミュニケーション」「グループへの貢献」「グループ内で起きていること」の観点について発表してもらおう。

9 まとめ

各グループの実習の様子や発表をふりかえりながらまとめます。ファシリテーターは実際にあったことなど実習中の具体例を交えて話すといよいでしょう。

まとめにあたっての観点(例)として次の項目があげられます。

(1) 伝える(話す)

ア 責任を持って、他のメンバーに正確に情報を伝えることができたか。

イ 他のメンバーが求めている情報をタイミング良く伝えられたか。

(2) 聴く

ア 他のメンバーの情報をしっかり聴くことができたか。

イ そのとき何についての情報が話題になっているか常に把握していたか。

(3) 質問する

分からないことや確認したい情報があるときに適確に質問できたか。

(4) グループへの貢献

ア 前向きに参加し、協力できたか。

イ 発言や質問がグループのやる気を引き出しグループに貢献できたか。

(5) グループ内で起きていること

メンバー(自分も含む)の役割や動きについて気づいた点はあったか。

| | |
|--|---|
| <p>どのグループも最低一人は、最初に割り当てられた部屋にいる</p> <p style="text-align: right;">1</p> | <p>さくらの間のカップルは、邪魔者に入り込まれ、口には出さないものの、内心は迷惑している</p> <p style="text-align: right;">2</p> |
| <p>泰子と明はもともと同じグループだった</p> <p style="text-align: right;">3</p> | <p>自分の部屋の向かいに移った人はいない</p> <p style="text-align: right;">4</p> |
| <p>はぎの間に、マージャンをしている連中は、全員違うグループの人である</p> <p style="text-align: right;">5</p> | <p>もともと、良雄と明は向かいの部屋だった</p> <p style="text-align: right;">6</p> |
| <p>あやめの間に移動してきた実可と美奈代は、同じグループだった</p> <p style="text-align: right;">7</p> | <p>もともと、夏代と高信は隣り合わせの部屋だった</p> <p style="text-align: right;">8</p> |
| <p>ぼたんの間は女性だけの部屋である</p> <p style="text-align: right;">9</p> | <p>まつの間は男性だけの部屋である</p> <p style="text-align: right;">10</p> |

| | |
|--|--|
| <p>同じ並びの部屋へ移動した男性は、 明・剛・草平である</p> <p style="text-align: right;">11</p> | <p>同じ並びの部屋へ移動した女性は、 実可と美奈代である</p> <p style="text-align: right;">12</p> |
| <p>もともと、文也と愛子は、向かいの 部屋だった</p> <p style="text-align: right;">13</p> | <p>隣の部屋へ移動したのは草平と剛だ けだった</p> <p style="text-align: right;">14</p> |
| <p>もともと、寛子と雅美は、向かいの 部屋だった</p> <p style="text-align: right;">15</p> | <p>もともと、一平と安奈は、同じ並び の部屋だった</p> <p style="text-align: right;">16</p> |
| <p style="text-align: center;">/</p> | <p style="text-align: center;">/</p> |
| <p style="text-align: center;">/</p> | <p style="text-align: center;">/</p> |

民宿の部屋

夏のバカンスを楽しむ若者が民宿の六つの部屋に総勢20人で宿泊していますが、若者の特権で、見知らぬ同士でもすぐに仲良くなってしまったり、即席のカップルができてしまったりしています。その結果、各グループが入り乱れてしまい、下のような状況になりました。さて、次のヒントをもとにして、最初はどの部屋にいたのかを考えてください。なお、部屋の名のカッコの人数は、最初にその部屋に割り当てられた人数です。

| | | |
|--|---|---|
| <p>まつの間 (3人)</p> <p><u>愛子</u>・<u>夏代</u>・隆</p> | 廊 | <p>あやめの間 (4人)</p> <p><u>美奈代</u>・<u>寛子</u>・<u>実可</u> <u>春香</u></p> |
| <p>うめの間 (4人)</p> <p>和義・<u>泰子</u></p> | | 下 |
| <p>さくらの間 (2人)</p> <p>草平・<u>雅美</u>・有広 <u>安奈</u></p> | | <p>はぎの間 (3人)</p> <p>文也・良雄・高信 明</p> |

==== は女性を示す

民宿の部屋

| | | |
|------------|---|------------|
| まつの間 (3人) | 廊 | あやめの間 (4人) |
| うめの間 (4人) | 下 | ぼたんの間 (4人) |
| さくらの間 (2人) | | はぎの間 (3人) |

正解

民宿の部屋

| | | |
|--|---|---|
| まつの間 (3人) 一平・良雄・ <input type="checkbox"/> 隆 | 廊 | あやめの間 (4人) 明・剛・泰子・ <input type="checkbox"/> 春香 |
| うめの間 (4人) <input type="checkbox"/> 和義・寛子・文也・草平 | | ぼたんの間 (4人) <input type="checkbox"/> 絵理子・愛子・雅美・ 夏代 |
| さくらの間 (2人) <input type="checkbox"/> 有広・ <input type="checkbox"/> 安奈 | 下 | はぎの間 (3人) <input type="checkbox"/> 高信・美奈代・実可 |

※は、もともとその部屋にいた人 (移動していない人) である。

- (1) 「まつの間」は男性3人である⑩により残るのは隆、愛子と夏代は右側へ移るが⑫、④により「あやめの間」ではない。 隆（「まつ」）
- (2) 「はぎの間」の明は、⑪により、「あやめ」か「ぼたん」、しかし、⑭により「あやめ」となる。 明（「あやめ」）
- (3) ⑥により、良雄は「あやめ」の向かいの「まつ」になる。 良雄（「まつ」）
- (4) 一方、③により、泰子は明と同じ「あやめ」である。①により、和義が「うめ」となる。 泰子（「あやめ」）、和義（「うめ」）
- (5) ②により男1人、女1人であるが、草平は、⑭により「うめ」、有広が「さくら」 草平（「うめ」）、有広（「さくら」）
- (6) ⑨により「ぼたん」は女性4人。従って、絵理子が残る。 絵理子（「ぼたん」）
- (7) 「ぼたん」の男性のうち、剛は隣の部屋、一平は反対側（左）に移るが、④により「まつ」か「さくら」、しかし「さくら」は有広であるから、一平は「まつ」である。 一平（「まつ」）
- (8) 「あやめ」は、美奈代と美可は⑫で同じ並びで、⑭により「はぎ」である。 美奈代と実可（「はぎ」）
- (9) 「まつ」の愛子と夏代は、(1)で右側、しかも(8)で「はぎ」が決まっており、残りは「ぼたん」である。 愛子と夏代（「ぼたん」）
- (10) 「さくら」の安奈は、⑯により、左側。しかも⑭により隣へ動かないから、安奈はさくらである。 安奈（「さくら」）
- (11) (10)により雅美は右側に移動。⑮により「あやめ」の寛子が残った左側の「うめ」である。すると雅美は対面の「ぼたん」である。 寛子（「うめ」）、雅美（「ぼたん」）
- (12) 「あやめ」で、元々いたのは春香しか残らない。 春香（「あやめ」）
- (13) ⑬により、愛子の対面で、文也は「うめ」である。 文也（「うめ」）
- (14) ①により、「はぎ」の残りは、高信である。 高信（「はぎ」）
- (15) 「ぼたん」の剛は、⑭と(12)高信により、「あやめ」になる。 剛（「あやめ」）